

I C T学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	ひらがなあつまれ		
	単元(題材)の目標	点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	2年1人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	担当児童は小学部2年生である。ひらがなを読むことはできるが、ひらがなの書き順が違っているものが多い。また、筆圧が弱く、ひらがなの形が崩れがちで、なぞり書きの際もはみ出してしまうこともある。		
I C T活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	ひらがなかたかなおけいこ		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T活用のねらい	ひらがなに関心をもち、正しい書き順で、文字の形に注意しながら書くことができるようにする。		
活用の状況と支援	ひらがなを慎重になぞり、正しく書くことができると、花のスタンプがつくことを喜んで、教師に見せてくるようになった。その都度称賛すると、他のひらがなを自分で選び、なぞり書きに取り組む様子が見られた。			